

特集号

平成22年度当初予算成立

予算編成に あたって

平成22年度当初予算は、町長選挙を考慮し、いわゆる「骨格予算」として、義務的経費と継続事業を計上いたしました。なお、福祉、教育など住民生活に密接に関わり、国の制度改革等に伴い当初から実施する必要がある政策、また早期に対応が必要な政策については、当初予算計上といたしました。

広報永平寺特集号では、当初予算編成の概要についてお知らせしますが、政策的な経費、いわゆる「肉付け予算」については、別途お知らせいたします。

当初予算は、財政的に厳しい中にあっても、「町総合振興計画」に掲げる主要政策を着実に実施するとともに、「振興実施計画」「中期財政計画」に基づく各種事業を推進し、併せて、地域の一体化と住民福祉の向上並びに地域活性化につな

がる政策に取り組むことと
しています。

このような考えのもと、平成22年度当初予算では、財源不足が予測される非常に厳しい中にあっても、本町の輝かしい将来を見据えた施策、「健康づくりの支援」「未来への投資」、「にぎわいのある活力豊かなまち」を重点政策とし、健康・福祉の向上のための事業を最優先に、予算を編成いたしました。

また快適で利便性の高い、まちづくりを目指し、元気な子どもからお年寄りのみらいを築くためのバランスを重視した予算となっています。

活力と温もりのある まちづくり

昨年度より継続事業として行ってきた松岡小学校屋内運動場改築事業は、本年8月に完成し、2学期より活用できる運びとなっています。子ども医療費助成事業については、小学校

3年生まで無料化していましたが、中学校修了まで拡充することとし、がん検診無料化についても、20歳以上の方から対象とするなど拡充措置を図っています。65歳以上の高齢者の肺炎を予防するため、肺炎球菌ワクチン接種助成事業を新規事業として取り組むなど、子育て支援、健康づくりの支援をいたします。

さらに、道路網の整備や永平寺河川公園のトイレ等の施設を整備する事業、下志比駅トイレ設置工事、えちぜん鉄道利用促進通学定期券の購入補助を5%から10%に拡大する事業など住民生活向上に繋がる快適で利便性の高いまちづくりを推進します。地域資源活用事業として永平寺門前街において本町の特産品や商品の販売に取り組み、訪れる観光客と本町自慢の物産との出会いを図り商工業及び観光の振興を推進するなど、活力あるまちづくりの着実な進展を図ります。

町長所信表明

3月10日に開会された定例町議会の冒頭に、町政の諸課題および平成22年度当初予算案など重要施策について、松本町長が次のように所信を述べました。



訓示する松本町長

新たな情熱と 熱意を持って全力で

今年は、雪が多く大変寒さの厳しい冬でありましたが、春の足音とともに、野山の木々にも新たな息吹が感じられる季節となりました。

さて、このたび、町民の皆様の大きなご支持と温かいご支援をいただき、再び町政を担当することとなりました。まちづくりの取り組みへの

期待と信頼であると受け止めており、町民の生活を守り、永平寺町の未来を拓くため、なんとしても皆様のご期待にお応えすべく、新たな情熱と決意をもって、全力を尽くしてまいりたいと考えております。

これまで、多くの町民の皆様と話し、地域の課題について様々なご意見をお聞きする中で、町政に対する期待の大きさを肌で感じたところであります。改めて、町民の皆様のご支持、ご支援に対して深く感謝申し上げますとともに、その責任の重さを感じ、信頼される町政を進めてまいります。

未来を拓く、 元気、成長、安心予算

それでは、ここで平成22年度一般会計予算について申し上げます。2月に町長選挙が行われることになっ

ていましたので、経常的並びに継続事業について予算化することとし、政策的な経費については補正予算で対処することとしております。

なお、福祉、教育など住民生活に密接に関わり、国の制度改革等に伴って年度当初から実施しなければならぬもの、また、早期に実現を図る必要があるものについては予算化し、円滑な事業の実施に支障が生じないよう対応したところです。なお、この新年度予算を「未来を拓く、元気、成長、安心予算」と名づけ、住民福祉の向上に資することとしております。

まちづくりに向けての 主要施策



●保健計画を策定

近年、医療費が急激に上昇し、町の国民健康保険会計も大変厳しい状況となってまいりました。これまでの医療費の状況を分析した結果、医



検診の様子

療費を抑制するためには、これまで以上に健康づくりや保健事業を推進する必要があると考えており、そのため、「総合的な保健計画」を策定し、町民の健康づくりへの意識啓発と取組みを一層充実させていきたいと考えております。

●がん検診無料化を拡充、 肺炎球菌ワクチン接種に助成

健康長寿社会をさらに伸ばしていくためには、死亡原因の第一位であるがんに対する対策は重要であり、特に働き盛りの世代のがんを減らすためには、早期発見・早期治療が大切です。がん検診受診率の向上を図るため、新年度から胃がんなど5つのがん検診を20歳以上全て、無料といたします。

また、肺炎にかかる高齢者が増加

してきている状況にあります。肺炎球菌ワクチンの接種が非常に効果的であることから、65歳以上の方々に、ワクチン接種の支援をすることといたしました。

●子ども医療費無料化を 中学校修了までに拡大

現在、子ども医療費につきましては、小学校3年生まで（9歳）を無料としておりますが、これを、県下トップレベルの支援制度に拡充するため、6月から中学校修了まで無料化することといたしました。これに要する追加事業費につきましては、徹底した行財政改革により捻出した財源を活用することとしております。

●健康福祉施設の整備に向けて

健康福祉施設の整備につきましては、温度・泉質共に優れた温泉を、多くの町民の皆様にご利用いただくため、施設の建設を進めたいと考えております。そのため、新年度から、健康福祉施設整備室を設置し、土地の確保や農地転用等の準備を進めることとしております。

●町民健康ウォーキングを 6月に実施

健康づくりの一環として、毎年7

月31日を「町民ラジオ体操の日」と定め、健康づくりを推進しておりますが、近年、気軽に取り組めるウォーキングに親しまれる方が増えてまいりました。町では、「健康で笑顔に満ちたまちづくり」をさらに推進するため、6月に「町民健康ウォーキングの日」を定め、多くの町民の参加をいただくことにより、地域の交流や体力の向上を図りたいと考えております。

●子ども手当への支給

新しい政権の公約の一つである子ども手当につきましては、新年度から半額の1万3千円が支給されることになっており、これまでの児童手当に比較しますと、実質1億7500万円余の増額となっております。



●松岡小学校 屋内運動場が完成へ

松岡小学校の屋内運動場建設につきましては、昨年7月から解体工事、9月から建設工事に着工し、順調に進捗しているところであります。本



工事が進む松岡小学校屋内運動場

年度8月末の完成に向けて、引き続き十分な施工監理に努めながら工事を進めてまいりたいと考えております。2学期からは、新しい屋内運動場で、子どもたちがのびのびと運動し、たくましく成長し、地域の方々も様々なスポーツ・レクリエーション等で活用していただけるものと期待しております。

吉野小学校におきましては、老朽化したトイレの改修を行い、志比小学校では、給排水設備の改修、志比北小学校では、プールサイドの改修を行います。

また、松岡・永平寺の中学校では、3年生の教室にエアコンを整備することとしております。

●学校教育の充実

特別教育支援につきましては、支

援員を増員し、支援を必要とする子どもたちにきめ細かく対応するとともに、「学校元気創造事業」、「確かな学力の向上事業」、「豊かな体験活動推進事業」など、本町独自の教育を展開しながら、社会の宝である子どもたちの健全な育成と教育力の向上に努めていきたいと考えております。

●四季の森文化館の整備

四季の森文化館につきましては、検討委員会を設置し、図書館があったスペースや傘松閣の利活用について、協議を進めてまいりました。その結果、図書館跡は資料館に、傘松閣は照明器具の増設や給湯室を設けるなど、利用しやすい施設としてリニューアルすることといたしました。資料館には、子どもたちの体験コーナーを設置し、埋蔵文化財・古民具の展示も行い、本町の歴史・伝統・文化に触れ合える場所として整備いたします。

●永平寺河川公園、 松岡公園の整備

永平寺河川公園において、「九頭竜フェスティバル永平寺大燈籠ながし」をはじめ、様々なイベントやス

ポーツ・レクリエーション活動が展開されております。

現在、芝生広場の排水機能等に支障が生じておりますので、これらを整備し、また、利用者の利便を図るため、新たにトイレを設置することといたしました。

松岡公園の整備については、老朽化した園路や植栽等を整備し、桜の名所としての復活や、青少年の憩いの場にしたいと考えております。

安心して暮らせる



●防災体制の強化に 地震防災マップを作成

国の内外で大きな地震が発生し、尊い人命が犠牲となり、ライフライン等の都市機能が崩壊している地域があります。大きな地震から人命や財産を守り、また、地震による被害の軽減を講じるため、住宅の耐震化の促進と、防災に対する意識の高揚を図るため、地震防災マップを作成し、安心して暮らせる防災体制の強化に努めることとしております。

●消防団休憩用施設を整備

町の消防団につきましては、平成20年4月に13分団から10分団に再編し、火災予防、災害時での対応など、住民と協働して地域の安心・安全のため様々な活動を展開していただいております。地区消防分団の拠点となる施設が不足しておりますので、計画的に整備を進めることとしており、新年度は、上志比地区の第1分団と第2分団の施設を整備したいと考えております。

●不法投棄等

監視パトロールを

近年、本町におきましても、ゴミの不法投棄が顕著になっております。そのため、町内の河川や林道等の監視パトロールを展開し、不法投棄の削減と自然環境保全活動の推進を図りたいと考えております。

快適で利便性の高い



●中部縦貫自動車道・

機能補償道路の早期開通に

快適で利便性の高いまちづくりを目指すため、道路網の整備は最も大きな課題であります。中部縦貫自動



整備が進む機能補償道路（轟地保）

車道や機能補償道路の早期完成に向けて、引き続き全力で取り組んでまいります。

中部縦貫自動車道につきましては、これまで、あらゆる機会をとらえて、永平寺大野道路の早期全線開通について、関係機関や地権者の皆様のご理解をいただき、大きな前進をみているところであります。

福井北インターから越坂トンネル間につきましては、本格着工に向けて、工事用道路の整備と関西電力、北陸電力の鉄塔移設の準備を進めているところであります。

谷口、花谷、光明寺の各地区におきましては、地権者のご理解をいただきまして、用地買収がほぼ完了いたしました。轟地区も境界立会いを行っており、用地買収に向けて地元

とともに全力で取り組んでいるところであります。

上志比地区におきましては、浅見トンネル935メートルの工事に着手し、現在、トンネル工事に向けて工事用道路を施工しているところであります。

本年度中には、永平寺町全体事業用地の取得率が91・7%と大きく前進することが見込まれ、平成28年度の全線開通を目指し、国・県と連携を図りながら、整備促進のため、今後も引き続き、この道路の完成に全力で取り組むたいと考えております。

国道416号の渋滞を解消するため、建設を進めておりますバイパス道路（機能補償道路）につきましても、地域の皆様のご理解をいただき、着実に事業を進めておりますが、平成24年度の開通に向けて、努力を傾けてまいりたいと考えております。

●五領42号線整備完了へ

町道五領42号線につきましては、国の交付金事業として、平成18年度から計画的に整備を進めてまいりましたが、新年度が5カ年事業計画の最終年度となり、福井大学医学部附属病院前から、福井県立大学まで、

延長700mについて、歩道のバリ
アフリー化及び道路改良を行います。
これにより、総延長1・7kmの整備
が完了することとなります。

●土曜日も運行

コミュニティバス

平成20年度に一本化したしました
コミュニティバスにつきましては、
月曜日から金曜日までの運行をして
おりましたが、高齢者の方々ははじ
めとする地域からの強い要望にお応
えするため、土曜日にも増便運行を
することといたしました。

●下志比駅にトイレ設置、 通学定期助成の拡大

同じく高齢者や通学児童から長年
にわたり要望のありました、えちぜ
ん鉄道・下志比駅にトイレを設置す
ることとしております。



えちぜん鉄道下志比駅

また、これまで、えちぜん鉄道を
利用して通学している児童・生徒に
対して、定期券の5%を補助してき
たところですが、新年度からは10%
に拡大して、保護者の負担軽減とえ
ちぜん鉄道の利用促進を図りたいと
考えております。

●町営住宅に

ケーブルテレビの屋内配線を

来年7月からテレビ放映が、デジ
タル放送に移行されるため、町営住
宅施設においても計画的にデジタル
化を進めてまいりましたが、新年度
は越後住宅の2棟について、デジタ
ル放送に対応したケーブルテレビの
屋内配線を整備することとしており、
町内全ての町営住宅でデジタル放送
が視聴できることとなります。



●担い手育成と農業基盤強化

明日の農業を支える担い手や生産
組織等が整備する農業用作業施設や
農業機械等の整備、導入のための補
助を行い、担い手や生産組織の育成
強化を図っておりますが、新年度は、



満開のレンゲ畑

2つの生産組織に対し支援すること
としており、地域農業サポートセン
ターが行う事業に対しても支援いた
します。

また、農業基盤の確立ため、圃場
の再整備や農業用排水路の整備を
進め、将来、安定した農業経営が図
られるよう、21年度から吉野地区に
おいて農山漁村活性化プロジェクト
事業に取り組んでおりますが、継続
事業として新年度も事業費を拡充し
て実施いたします。

●レンゲ米のブランド化を

小・中学校の米飯給食に対して、
昨年11月から町のレンゲ米（有機米）
を提供しておりますが、新年度も、
子どもたちの健康と安全ために、引
き続きレンゲ米を提供し、レンゲ米

のブランド化も図ってまいりたいと
考えております。

●観光誘客・門前の整備

観光の振興は、本町にとって最も
重要な課題であり、様々な形で観光
客をさらに増加させていくことが重
要であると考えております。そのた
め、歴史、自然、食など本町ならで
はの資源を充実して、観光誘客に結
びつけていく必要があります。

農業・商工業・観光の関係者が連
携しまして、永平寺町の産業の活性
化と広く永平寺町の魅力を県内外に
情報発信し、永平寺ブランドを確立
するために、「永平寺農・商・エプ
ランド発信協議会」を3月末に設立
し、産業フェアーの開催など、取り
組みを図ってまいります。

また、観光の振興を図るため、永
平寺門前の整備、京福線跡地遊歩道
の整備を進め、大本山「永平寺」へ
の観光客の増加を図ります。

県の支援を受けて、21年度から2
カ年計画で、永平寺門前の整備に取
り組めます。実際の工事は、22年度
と23年度になりますが、道路の舗装
や、店舗の統一化、空きスペースの
活用、誘客・接客マナーの向上など、

門前地区と一体となって取り組み、永平寺への観光客の増加を図りたいと考えております。



永平寺門前街

●観光資源の開発と 商工業との融和

また、町観光物産協会と連携して、これまでの誘客イベントに加え、新たな観光資源の開発を図ります。特に、新年度は永平寺門前における本町の特産品などの販売に取り組み、訪れる観光客と本町の物産との出会いを図り、商工業・観光の振興につなげたいと考えております。

ところで、本年6月に「APEC エネルギー大臣会合」が福井市で開催されます。開催中は、アジア・太平洋地域の21の国・地域から、政府関係者、報道関係者など、約4百名の方々が来県するため、本県の歴史、

伝統、文化、観光地などの情報を世界に発信する絶好の機会となります。本町におきましても、大本山「永平寺」や吉峰寺などに来ていただくことができるよう、関係機関に働きかけていきたいと考えております。



●男女共同参画宣言都市に

男女がそれぞれの人権を尊重し、すべての町民が優しさと思いやりのある豊かなまちづくりを目指し、あらゆる機会をとおして、共同社会の形成に向けて取り組みを続けていくことが求められております。そのような状況の中、内閣府の支援を受けて、本年8月に「男女共同参画宣言都市」の宣言をすることいたしました。



●行政改革の推進で 16億3000万の 削減効果

合併しまして直ちに策定いたしました

した「行政改革大綱」に基づき、これまで様々な行財政改革に取り組んでまいりました。職員の新規採用を控え人件費を抑制し、事務事業や補助金の見直し、公用車を減らすなど経常経費を大きく削減いたしました。また、利息の高い起債の借り換えや繰り上げ償還を実施しました。

これらの取り組みにより、この4年間で約16億3000万円の削減効果を生み出すことができました。また、合併時に、203億円あった公債費の残高を169億円にと、34億円減額し、実質公債費比率も17・5%と適正規模に改善したところであります。

今後も引き続き改革努力を進めながら、健全な行財政運営に努めてまいりたいと考えております。

特別会計

●国民健康保険税の見直しを

国民健康保険事業特別会計について、近年、医療費が急激に増加してきたことから、国保会計に大きな影響が出てまいりました。合併時には

2億8000万円あった基金の保有額も、本年度末には1億円となり、繰越金についても見込めない状況となっております。そのため、新年度には、国民健康保険税を見直し、被保険者の方に応分のご負担をお願いしなければならなくなりました。急激な税の増額を避けるため、一般会計において2000万円の繰り出しをすることとしております。今後とも、国保会計の健全化のため、医療費の抑制に向けた取り組みや、保健計画の策定、保健事業の拡充に努めてまいりたいと考えております。

この他、後期高齢者医療特別会計をはじめとする、六つの特別会計予算につきましては、それぞれの事業が円滑に執行できるよう、適正な予算を編成したところであります。なお、土地開発事業特別会計につきましては、事業終了のため廃止いたしました。

喜びあふれるまちに

以上、新年度予算における主要事業と新たな取り組み等について申し上げますが、行政改革大綱に基づ

き、事務事業の見直し、職員削減による人件費の抑制、繰上げ償還や借り換え等による公債費の削減など、積極的に改革を進め、財源の確保と健全財政の維持に努めることを基本としたところであります。

現在、新政権では、「地域主権改革」を掲げて取り組みを進めておりますが、私たち地方といたしましては、「地方が新しい日本を創る」という信念で、住民の幸せのため、より一層努力してまいります。

合併後、4年が経過いたしました。これまで、新町における様々な行政計画をはじめとする町の将来ビジョンを策定し、その実現に向けてまちづくりを進めてまいりました。これからも、改革努力を行いながら、住民参画システムを確立し、議会や町民の皆様と共に、真のまちづくりを進めていきたいと考えております。

地域のことは地域自らが決定するという地方主権改革も、地方が主体的に進めなければなりません。地方の果たす役割は、今後ますます大きくなってまいります。

平成22年度を迎えるにあたり、町の発展と住民福祉の向上のため、決意を新たにしているところであり、

これからも議員各位と力を合わせ、信頼される政治、責任を持つ政治を行い、住民の皆様と共に未来に希望と夢を、ふるさとに自信と誇りを持てる、喜びにあふれた理想のまちづくりのため、これからも「愛町普遍」の精神で全力を尽くしてまいります。

3月補正について

平成21年度3月補正予算の概要については次のとおりです。

●一般会計

総務費では、退職手当組合負担金、基金積立金を増額し、福井坂井地区広域圏の電算共同利用負担金を減額し、定額給付金事業が確定したことに伴う、事務費等の返還金を補正しております。

民生費では、心身障害者介護給付費、老人福祉センター指定管理料、介護保険特別会計への繰出金等を増額し、嘱託職員の人件費、子育て応援特別手当に関する事務費等を減額しております。

衛生費では、住宅用太陽光発電設備導入補助金を増額し、予防接種事

業費、広域圏の負担金を減額いたしました。

農林水産業費では、有害鳥獣駆除費、県営圃場整備事業負担金等を増額し、農業集落排水事業特別会計への繰り出し金を減額しております。

商工費では、大本山「永平寺」の門前街の整備を進めるため、調査設計や道路舗装を行うことといたしました。

土木費では、除雪に要した経費や県営道路整備事業負担金、県営河川整備事業負担金等を増額し、屋根融雪住宅設備設置促進事業補助金と木造住宅耐震改修促進事業補助金、下水道事業特別会計への繰り出し金を減額しております。

最後に教育費ですが、松岡小学校の校舎改修、松岡中学校、永平寺中学校の耐震補強工事を行うことといたしました。

なお、今回の補正予算は、1月28日に成立した国の第2次補正予算に盛り込まれた「地域活性化・きめ細かな臨時交付金事業」を活用しており、増額した事業のうち、国・県の支援を受けて実施する事業等につきましては、翌年度に繰り越して実施することとしております。

●特別会計

国民健康保険事業特別会計では、特定健康診査にかかる国庫及び県負担金の過年度分の返還金等を増額しております。

後期高齢者医療特別会計では、広域連合への負担金を増額し、介護保険特別会計では、介護サービス給付費、施設介護サービス給付費、介護予防サービス給付費等を増額しております。

簡易水道事業特別会計におきましては、上志比地区の建設事業費の額が確定したことに伴い、工事費を減額します。

下水道事業特別会計では、下水道処理委託料を増額し、消費税及び起債の利子を減額し、農業集落排水事業特別会計では、受益者分担金前納報奨金を増額し、消費税を減額しております。

次に、土地開発事業特別会計であります。上志比栗住波の宅地開発事業が完了しましたので、会計を清算し、余剰金を一般会計に組み入れることとしております。

未来を拓く 元気・成長・安心予算

平成22年度
当初予算一般会計

82億2,340万円(伸び率1.8%)

歳入

主要財源である地方交付税は、国の財政計画等を考慮し昨年度と同額を見込んだ結果、歳入予算全体に占める割合は41.8%となっています。町税は、2.6%（5,121万円）の減を見込み、近況の厳しい経済情勢を反映した形となっています。また予算全体に占める地方交付税と町税の割合は約3分の2を占めています。国庫支出金は、32.2%（1億3,391万円）増となり、国の施策である、子ども手当支給事業、学校施設整備に係る国の補助事業による国庫支出の増を見込んだためです。県支出金も国庫支出金同様に、子ども手当支給事業に伴い13.0%（7,341万円）の増を見込みました。

繰入金30,711万円のうち町の貯金である財政調整基金は、対前年度2,813万円減の抑制を図り24,297万円を繰り入れる予算となりました。

町債（町の借金）は6.7%（4,100万円）の増となり、学校施設整備の財源として充当するほか、地方交付税の不足分を補う臨時財政対策債4億2,800万円を発行することによるものです。国の施策に伴い国・県支出金は増となっていますが、全体的に減となる項目が多く、財源確保が厳しい状況であり、各基金からの繰入金や町債の発行によりその財源不足を補う形となっています。

歳出

民生費が対前年度伸び率で12.5%（25,628万円）増で、歳出予算全体の28.0%を占めています。国の施策である、子ども手当支給事業を行うほか、中学校終了まで拡充した子ども医療費助成事業、本年度より20歳以上の方に拡充した、がん検診の無料化、肺炎予防のため65歳以上の方を対象に行う、肺炎球菌ワクチン接種事業など健康づくり、子育て支援の施策に取り組んでいます。また、教育費においては平成21年度の継続事業である松岡小学校屋内運動場整備事業や快適な学校生活を過ごせるように小・中学校の施設整備を行うなど、将来を担う子どもたちの教育の安全・安心政策に取り組んでいます。

土木費・農林水産業費においても生活道路網の整備や農林業を行う担い手の育成と産業の充実を図るほか、住宅用太陽光発電等設備導入の補助やえちぜん鉄道下志比駅トイレ整備、町の観光地のイメージアップを図る事業など「くらしの向上」に取り組む予算付けとなりました。

特別会計（対前年度伸び率）

●国民健康保険事業	17億7,762万円	5.9%
●後期高齢者医療事業	1億8,793万円	4.3%
●老人保健事業	62万円	0.0%
●介護保険 (保険勘定サービス+サービス勘定)	14億9,099万円	4.1%
●簡易水道事業	1億7,637万円	△56.5%
●下水道事業	7億0,903万円	3.8%
●農業集落排水事業	2億0,865万円	1.8%
合 計	45億5,121万円	△0.8%

企業会計（対前年度伸び率）

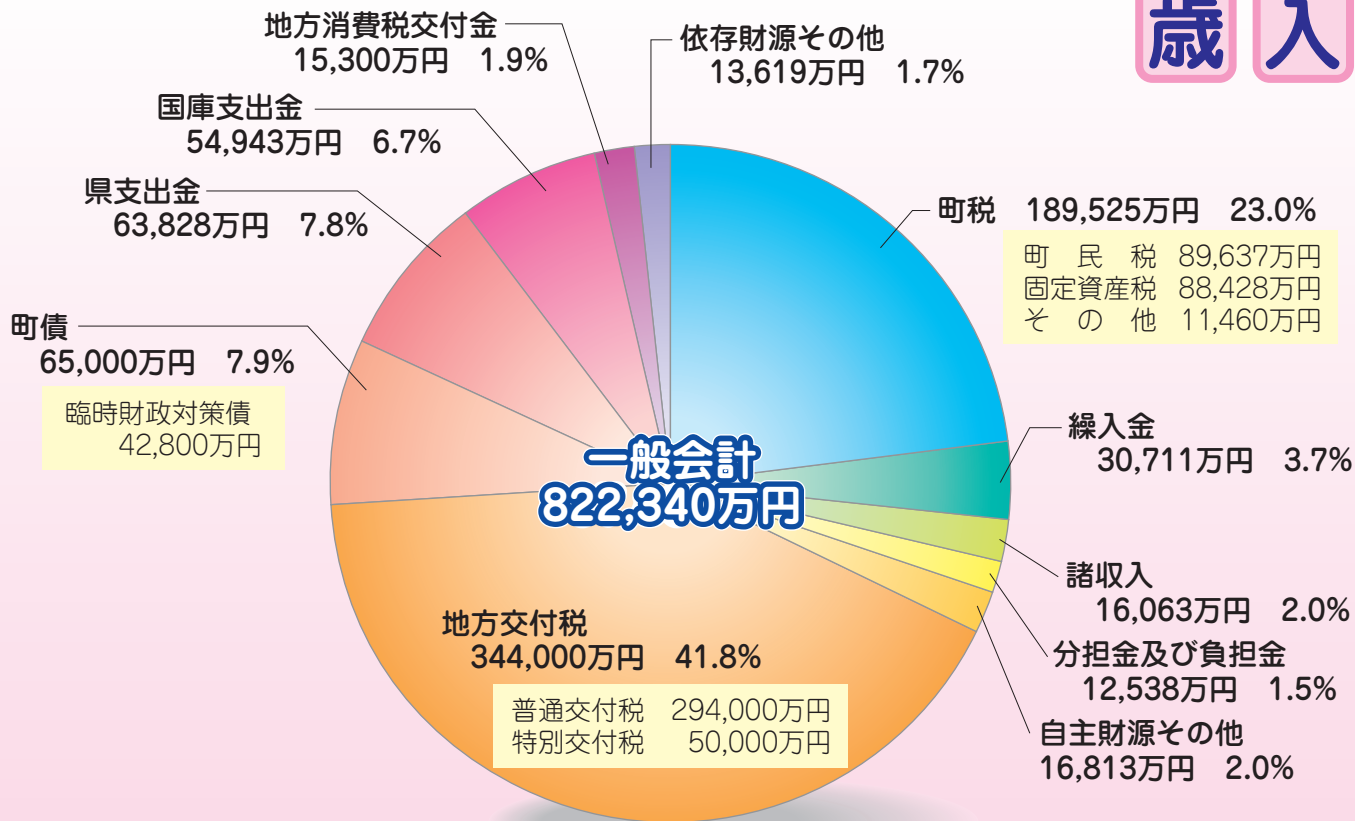
●上水道事業	2億4,404万円	△15.5%
※上水道事業の予算額は、収益的支出と資本的支出の合計である。		

【特別会計】 総額45億5,121万円で対前年度伸び率0.8%（3,756万円）の減となりました。医療費の増加に伴い国民健康保険事業特別会計が対前年度5.9%（9,907万円）増となったほか、介護給付費の増から介護保険事業特別会計も同様に4.1%（5,832万円）増となりました。一方、簡易水道事業特別会計においては、上志比地区の取水ポンプ施設改良工事が完了したことから、対前年度比56.5%（2億2,943万円）の減となりました。

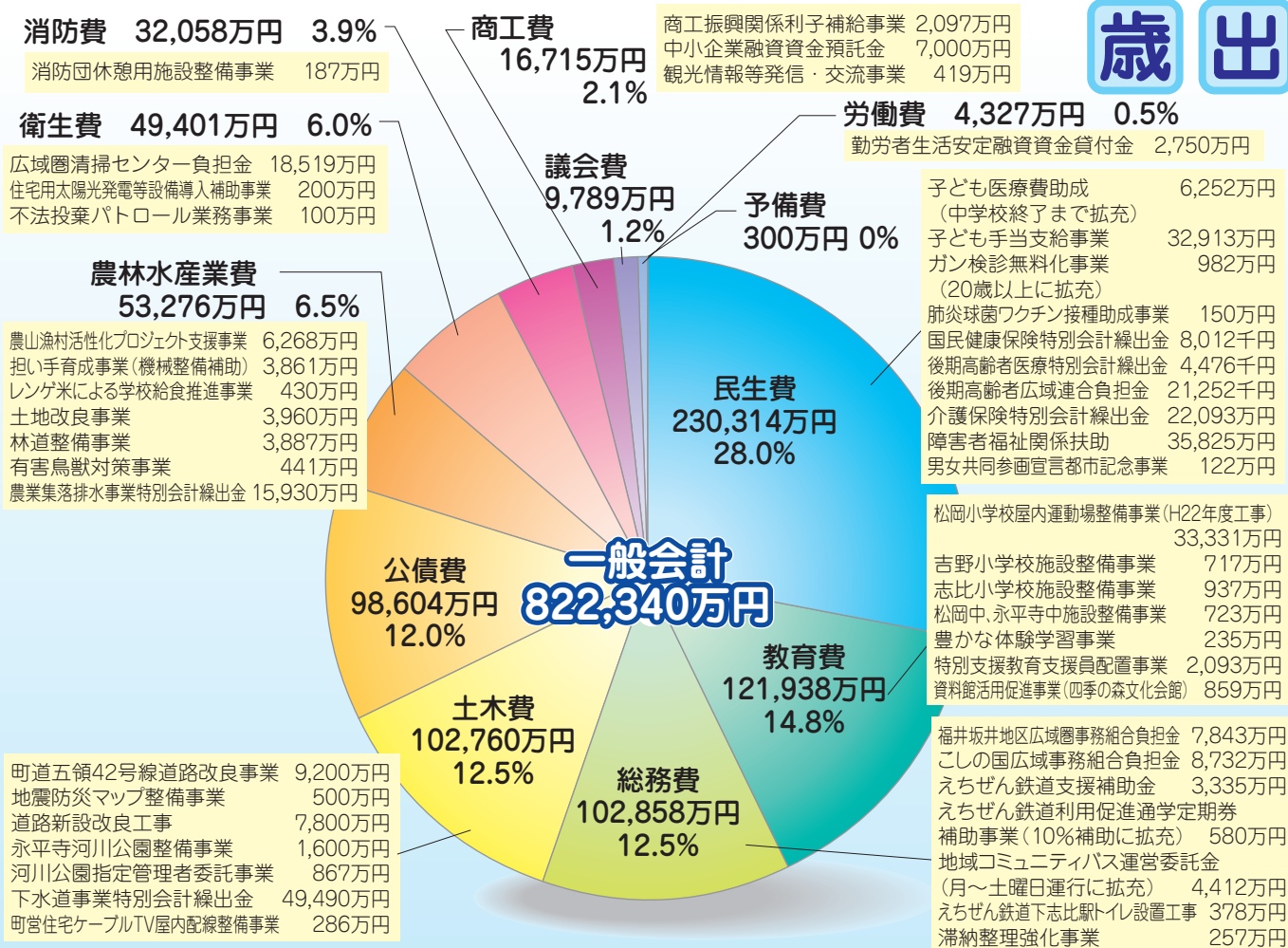
なお、土地開発事業は2地区の宅地販売が完了し、事業の清算が完了したため平成21年度をもって事業会計を廃止いたしました。

【上水道企業会計】 2億4,404万円で対前年度伸び率15.5%（4,473万円）の減となりました。これは昨年実施した右岸配水ポンプ場排水池耐震補強工事等（5,040万円）が完了し、平成22年度予算として右岸ポンプ場機械電気設備設計委託料に1,113万円を計上した結果、資本的支出（工事費）が減少したことによるものです。今後とも施設の耐震補強等の前倒しに取り組むなど、快適で住みよいまちづくりをめざし、将来的に安定した飲料水の供給を図ります。

歳入



歳出



家計簿でみる町の予算

永平寺さんち の家計簿

町の予算をより身近に感じていただくために、一般会計予算を家計簿の形にして表してみました。なお金額の単位は「千万円」を「万円」に置き換えています。

収 入

給 料	681万円
基本給（町税）	189万円
諸手当	
（普通交付税、国庫支出金など）	492万円
パート収入	
（分担金、使用料など）	21万円
雑収入	17万円
金融機関からの借入（町債）	65万円
貯金の取崩（繰入金）	31万円
前年度の残金（繰越金）	7万円
合 計	822万円

支 出

食費（人件費）	215万円
医療費（扶助費）	
※うち子ども手当支給（33万円）	81万円
公共料金、	
生活用品など（物件費）	96万円
保険料、	
交際費など（補助費など）	126万円
ローンの返済（公債費）	99万円
家の改築、修繕など	
（普通建設事業費など）	89万円
子どもへの仕送り、友人への援助	
（繰出金、貸付金）	115万円
貯金（積立金）	1万円
合 計	822万円

永平寺さんちの収入は、給料が主なものですが、会社（国）の方針（子ども手当給付）から諸手当が多くなっています。また、年間支出822万円を賄うため、貯金の取り崩しや金融機関からの借入で補っています。

支出の主なものは、子ども手当給付（扶助費）や子ども医療費の拡充（中学校終了まで）、学校施設整備（普通建設事業）など、未来を担う子どもたちの教育費や家族の健康のための費用を確保するなど、生活の質が向上するよう工夫しています。

景気低迷が続く中、さらに基本給が減ることが予想され、さらに会社（国）の方針で、諸手当が減っていくことが考えられるため、給料が増加することは見込めません。そのため、支出を工夫し、経費を節約し、家族にやさしい、より質の高い生活を目指していきたいと考えています。

平成22年度当初予算(一般会計) における新規事業及び主要事業の概要

新規事業 21事業 拡大事業 16事業

3地区の均衡ある発展とすべての町民の皆さんが等しくさまざまな行政サービスを受けられる町の実現を目指して、事業を実施していきます。ここでは、永平寺町総合振興計画の基本目標に沿って、その施策についての事業や取り組みを紹介します。(**新** は新規事業、 **拡大** は昨年の事業を更に充実させたもの)

1. 健康で笑顔に満ちたまちづくりをめざして

1) 健康づくりの支援

新 保健計画策定事業4,300千円

少子、高齢化が進展する現況において、様々な問題に対応する健康なまちづくりを目指すため、総合的に保健計画（健康増進）を策定し、町民の健康づくり意識啓発と健康づくりの支援を推進します。

新 肺炎球菌ワクチン接種助成事業（65歳以上） 1,500千円

死亡原因の第4位である「肺炎」について、肺炎の予防接種費用を助成することにより、高齢者の肺炎を予防し、健康寿命の延伸を図ります。

新 個別ガン検診事業1,266千円

町民のガン検診受診の機会を拡大するために、医療機関における個別検診を導入し、もって健康づくりを支援します。

新 特定健診受診率向上対策事業600千円

健康で笑顔に満ちたまちづくりを進めるとともに、特定健診の自己負担金を無料化し、受診者の負担軽減を図ることで健診の受診率向上につなげ、健康づくりの支援を推進します。

新 町民健康ウォーキング事業302千円

気軽に取り組むことができるウォーキングを通し、地域の交流や体力の向上を図り、健康で笑顔に満ちたまちづくりを推進します。

拡大 ガン検診無料化事業9,822千円

死亡原因の第1位である「ガン」について、早期発見早期治療を推進するために、検診無料化を20歳以上に拡大し、ガン検診を推進します。もって町民の健康寿命の延伸と医療費削減を図ります。

予防接種事業	16,011千円
母子保健事業	2,348千円

2) 子育て・少子化対策の推進

新 子ども手当支給事業 329,130千円

次世代の社会を担う子ども一人ひとりの健やかな育ちを支援するため、平成22年度において中学校修了前までの子ども一人につき月額1万3千円の子ども手当を支給します。

新 発達障害児保育カウンセリング事業 1,019千円

幼稚園、幼稚園において、発達障害の疑いがある「気がかりな子」を早期に発見し、専門の保育カウンセラーによるカウンセリングを行い、保育士の関わり方や、環境を整えその子に合った保育を行うことにより、発達障害児の発症を少しでも防ぐとともに、保育士の資質向上を図ります。

新 緊急連絡網整備事業（幼稚園・幼稚園） 473千円

園からの緊急連絡に際し、保護者に対し一斉メールを配信することにより迅速・確実な連絡が行えるよう緊急連絡体制の整備を図ります。

拡大 子どもの医療費助成事業（中学校修了まで） 62,521千円

子育てしやすい町を目指すとともに、子育て家庭の医療費負担の軽減を図るため、小学4年生～中学3年生までの子ども医療費を無料化にして、健康づくりを支援します。

待機児童のない対策として

嘱託保育士・調理員等の賃金	139,207千円
児童館運営事業	14,395千円
放課後児童クラブ事業	11,658千円
子育て支援センター事業	8,792千円
母子父子家庭等医療費助成事業	7,260千円
出産祝い金支給事業	5,400千円
幼稚園・幼稚園リフレッシュ事業	1,583千円



敬老会で発表する園児



幼稚園の畑でとれた野菜を食べる園児

3) 高齢者福祉の充実

町社会福祉協議会活動補助金	48,401千円
---------------	----------

在宅福祉事業委託	37,479千円
（外出支援サービス事業委託	14,124千円）
（すこやか介護用品支給事業委託	11,043千円）
（在宅介護支援センター事業委託	6,477千円）
（地域ふれあいサロン事業委託	2,468千円）
（配食サービス事業委託	2,444千円）
（寝具洗濯サービス事業委託	707千円）
（軽度生活援助事業委託	216千円）
老人福祉施設入所者措置事業	23,184千円
シルバー人材センター助成事業	15,628千円
老人福祉センター指定管理委託事業	14,800千円
老人保健事業	8,964千円
老人クラブ運営事業	3,093千円
敬老会運営事業	2,538千円



上志比地区老人クラブ春季スポーツ大会

4) 障害者（児）福祉の充実

介護給付費	248,700千円
重度障害者（児）医療費助成事業	86,400千円
障害者自立支援特別対策事業	6,900千円
補装具等支給事業	5,920千円
支え合い元気で通学支援事業	5,135千円
自立支援医療（更生医療）事業	3,000千円
地域活動支援センター事業	2,768千円
福祉タクシー利用助成事業	1,210千円

5) 安心の社会保障

介護保険特別会計繰出金	220,928千円
後期高齢者広域連合負担金	212,516千円

国民健康保険事業特別会計繰出金 ……………80,120千円

後期高齢者医療特別会計繰出金 ……………44,785千円

2. 健やかに育ち、心豊かな人づくりをめざして

1) 学校教育の充実

新 志比小学校施設整備工事 ……………9,366千円

校舎の給配水管が老朽化により傷んだため、改修を行い、飲料水の安全確保と快適な学校教育環境が確保できるように施設の整備を図ります。

新 松岡中学校・永平寺中学校施設整備事業 ……7,225千円

夏休み中の補習授業を快適に受講できるように、3年生教室にエアコンを設置し、学力の向上を目指すとともに快適な学校教育環境の整備を図ります。（上志比中学校については、整備済み。）

新 吉野小学校施設整備事業 ……………7,173千円

体育館のトイレが老朽化により、異臭と損傷が著しいためトイレの改修を行い、快適な学校教育環境が確保できるように施設の整備を図ります。

新 志比北小学校施設整備事業 ……………1,313千円

プールサイドの老朽化により表面が傷み、授業を受ける児童の安全を図るため改修を行い、快適な学校教育環境が確保できるように施設の整備を図ります。

拡大 松岡小学校屋内運動場整備事業 ……………333,305千円

老朽化と耐震性に劣る屋内運動場を改築することにより、児童が安心して安全に教育を受けられるよう、平成21・22年度の2カ年計画で学校施設の改修を図ります。

拡大 特別支援教育支援員配置事業 ……………20,926千円

小学校に在籍する様々な障害をもつ児童に対し、学校生活上の介助や学習の支援をする特別支援教育支援員を配置し、ご家庭のニーズにきめ細かく対応するとともに、学校教育環境の整備を図ります。

拡大 豊かな体験学習事業 ……………2,354千円

児童の豊かな人間性や社会性を育むために、自然の中での集団宿泊活動を通して自然や文化などに親しむとともに、自主・自立心や、規範意識など望ましい人間関係の育成を図ります。

教育コンピュータ整備事業 ……………25,327千円

小中学校施設改修事業	18,078千円
遠距離通学奨励、就学援助、 特別支援教育就学奨励費	6,703千円
小学校複式学級解消事業	5,746千円
学校図書 の 充実	4,150千円
学校元気創造事業	3,660千円
中学校部活動補助	2,765千円
中学校耐震補強事業	2,618千円
「確かな学力」の育成支援事業	1,900千円
問題を抱える子ども等の自立支援事業	1,230千円
小学校英語教育推進事業	775千円
みんなで作る楽しい学校農園事業	650千円



小学校連合体育大会



卒業式後、笑顔を見せる
永平寺中学校卒業生

2) 学校・家庭・地域の連携

浄法寺山青少年旅行村管理事業	5,044千円
家庭教育支援基盤形成事業	1,401千円
吉峰寺キャンプ場管理事業	796千円
町民ラジオ体操の日事業	610千円
地域の子どもの育てたい事業	530千円



浄法寺山青少年旅行村

3) 生涯学習の推進

新

資料館活用促進事業	8,585千円
-----------	---------

傘松閣の活用促進を目的に、照明器具の増設や給湯室の増築を行い、様々な催し物等を行うなど地域振興を図り、生涯学習環境の推進を行います。

拡大

図書館図書購入費	7,000千円
----------	---------

子どもや大人がより多くの「本」と出会い、まちの読書人口がさらに拡大するよう、蔵書資料の収集整備及び生涯学習環境の整備を図ります。

公民館運営諸経費	6,265千円
----------	---------



町立図書館永平寺館

生涯学習推進事業 100千円

4) 生涯スポーツの振興

新 永平寺河川公園整備事業 16,000千円

各種スポーツレクリエーション活動を通して生きがいと健康増進を図るため、永平寺河川公園のトイレ等の施設を整備することにより、健康な体と心豊かな人づくりの支援を推進します。

町体育協会・地区体育祭助成 6,520千円

スポーツ少年団助成事業 1,416千円

健康・体力づくり推進事業（21～23年度） ... 580千円



大会で行進する少年野球スポーツ少年団員

5) 地域文化の振興

古墳群整備に伴う嘱託職員賃金 4,157千円

文化芸術振興事業 3,500千円

3. 安心して暮らせるまちづくりをめざして

1) 防災体制の強化

新 地震防災マップ整備事業 4,998千円

大きな地震から人命や財産を守り、また地震による被害の軽減を講じるため、住宅の耐震化の推進と防災に対する意識の高揚を目的として、地震防災マップを作成し、安心して暮らせる防災体制の支援を図ります。

新 消防団休憩用施設整備事業 1,869千円

火災予防・災害時の対応など、町民と協働して地域の安心安全に対応するところから、地区消防分団の拠点となる施設を確保し防災体制の強化を図ります。

河川維持補修工事 5,000千円

自主防災組織資機材購入費補助金 3,000千円



防災訓練

県防災ヘリ運行連絡協議会負担金	1,843千円
自主防災組織活動費補助金	1,800千円
非常用備蓄品	900千円
町内一円水路改修等工事	800千円

2) 消防・救急体制の整備

消防団員報酬	6,478千円
集落消防施設整備補助金	2,818千円
住民とともに創る安全のまちづくり事業	700千円

3) 交通安全対策の推進

交通安全施設整備（工事及び修繕）	3,000千円
交通指導員報酬・報償	2,260千円

4) 防犯体制の強化

防犯隊報酬・出勤報償	2,549千円
地方消費者行政活性化事業（21～23年度）	2,520千円
防犯施設整備補助金	2,500千円
緊急連絡用携帯メール配信システム配信事業	593千円
子どもを守るみんなの輪事業	565千円

5) 自然環境保全啓発活動の推進

新

不法投棄等監視パトロール事業（22・23年度） 1,000千円
毎週（2日間）河川敷や林道等の監視パトロールを展開し、不法投棄物の削減と自然環境保全啓発活動の推進を図ります。

住宅用太陽光発電設備等導入事業	2,000千円
地域をつなぐ環境づくり推進事業補助金	1,587千円
「子どもに夢を」九頭竜鯉のぼり事業	281千円



「子どもに夢を」
九頭竜鯉のぼり事業

環境教育・環境学習推進事業 138千円

6) 循環型社会の構築

広域圏清掃センター負担金 185,178千円

一般廃棄物収集運搬業務委託 82,943千円

勝山・永平寺衛生管理組合負担金 12,400千円

古紙回収等奨励補助金 3,400千円

環境美化推進地区補助金 1,884千円

一般廃棄物施設(ごみ籠)整備補助金 600千円

生ごみ処理器補助金 500千円



粗大ごみ回収

4. 快適で利便性の高いまちづくりをめざして

1) 道路網の整備

拡大 町道五領42号線道路改良工事 92,000千円

福井大学医学部附属病院前から福井県立大学まで、町道延長1.7kmの歩行者の安全を確保するため、歩道のバリアフリーおよび道路改良をすることにより道路網整備を図ります。

町道整備工事 53,000千円

中部縦貫・機能補償道路関連工事 12,000千円

県単道路改良関連工事 3,000千円

町道維持補修工事 35,000千円

町道安全施設工事 5,000千円

道路除草委託・道路街路樹管理委託 9,023千円

融雪設備点検清掃委託 7,942千円

除雪最低保証委託 4,920千円

雪害復旧工事 2,000千円



町道五領42号線 道路改良工事

2) 公共交通体系の整備と利用促進

新 下志比駅トイレ設置工事（22年度） ……3,783千円

えちぜん鉄道下志比駅を利用する地域住民が通学・通勤等時に安心して利用できるように、トイレを新設し、公共交通利用促進を図ります。

拡大 コミュニティバス運営委託 ……44,124千円

利用者の利便性やサービス向上を図るため、土曜日の朝夕2便の運行を増便し、快適で利便性の高いまちづくりの支援を推進します。

拡大 えちぜん鉄道利用促進通学定期券補助事業 ……5,800千円

えちぜん鉄道利用者の増加及び鉄道の再生と地域の公共交通活性化を促進するために、通学定期券代の5%補助から10%補助に補助率を拡大して、利用促進を図ります。

えちぜん鉄道支援事業 ……32,400千円

コミュニティバス運行南地区補助金 ……6,000千円

生活交通路線維持対策事業補助金 ……4,618千円



コミュニティバス

3) 上水道施設の整備

簡易水道事業特別会計繰出金 ……55,950千円

4) 下水道施設の整備

下水道事業特別会計繰出金 ……494,904千円

農業集落排水事業特別会計繰出金 ……159,295千円

五領川公共下水道事務組合負担金 ……124,722千円

5) 地域情報化推進拠点の形成

こしの国広域事務組合負担金 ……87,324千円

福井坂井地区広域圏事務組合負担金 ……78,427千円

庁内ネットワーク事業 ……6,710千円

町例規集データベース化事業 ……4,889千円



こしの国ケーブルテレビ編集室

ＩＣカード標準システム事業	……………2,379千円
福井県電子システム負担金	……………2,116千円
総合行政ネットワーク事業	……………782千円

6) 宅地・住宅の整備

拡大 ケーブルテレビ屋内配線整備事業 ……………2,856千円

2011年7月に、アナログ放送から地上デジタル放送に移行するため、地上デジタル放送に対応したケーブルテレビの屋内配線を整備し、町営住宅施設の整備を図ります。

定住促進支援事業	……………5,357千円
町営住宅解体工事	……………4,134千円
木造住宅耐震診断促進事業	……………3,594千円
福井の伝統的民家普及促進事業	……………3,000千円
屋根融雪住宅設備設置促進事業	……………800千円



町営住宅 諏訪間団地

7) 計画的な土地利用の推進

都市計画事務	……………2,017千円
--------	--------------

5. にぎわいのある活力豊かなまちづくりをめざして

1) 商工業の振興

商工振興関係資金預託事業	……………70,000千円
商工振興関係利子補給事業	……………20,974千円
勤労者生活安定融資資金貸付金預託事業	……………20,000千円
商工会運営補助	……………10,000千円
労働者福祉厚生対策資金貸付金	……………4,000千円
就業者生活安定資金貸付金預託	……………3,500千円



町商工会が開催した商工元気フェア

2) 農林業・内水面漁業の充実

拡大 農山漁村活性化プロジェクト支援交付金事業 62,676千円

農業土地基盤整備のため、小規模圃場区画の再整備や老朽化した農業用の用排水路の整備を実施することにより、将来、安定した農業経営が図られるよう、平成25年度まで農業基盤整備事業（国庫補助事業）を継続的に実施いたします。

拡大 担い手育成事業 ……………38,609千円

地域での集落農業を推進するため、生産組織等が整備する農業用作業施設や農業機械等の整備、導入のための補助を行い、明日の農業を支える担い手や生産組織の育成強化を図ります。

拡大 有害鳥獣対策事業 ……………4,408千円

毎年増加傾向にある鳥獣害被害の防止と有効的な捕獲体制を確立するため、駆除隊員、協力隊員の出勤に伴う賃金等の増額、また電気柵設置に伴う補助事業や駆除隊員（猟友会会員）の高齢化に伴う後継者不足に対する新規狩猟免許取得に伴う助成などを行い、地域と連携した捕獲体制づくりを図ります。

拡大 レンゲ米（有機）学校給食推進事業 ……………4,300千円

これまで学校給食の米飯給食については、コシヒカリを導入していたが、平成21年11月より、町内全部の小中学校（7小学校、3中学校）でレンゲ米を導入し、本年度も子どもたちに健康的で安全、安心なレンゲ米学校給食を実践するとともに、レンゲ米の産地、ブランド化を推進します。

水田農業構造改革補助金 ……………39,666千円

中山間地域直接支払制度助成金 ……………9,276千円

みどり
水土里情報利活用促進事業業務委託 ……………3,000千円

ふるさとの味再発見事業 ……………1,036千円

美しい森林景観再生事業委託 ……………680千円

県単土地改良事業 ……………22,600千円

町単土地改良事業 ……………17,000千円

吉野総合開発事業 ……………12,222千円

九頭竜川下流地区

地域用水機能増進事業負担金 ……………2,053千円

県単林道事業 ……………30,000千円

町単林道事業 ……………8,869千円

造林事業委託料 ……………3,000千円



レンゲ米給食会



ふるさと大使水野邦明氏による
ふるさとの味再発見 小学生料理教室

森林整備地域活動支援事業補助金	4,720千円
森林組合業務運営補助金	2,850千円
地籍調査業務委託料	784千円
内水面漁業振興補助金	616千円

3) 観光の振興

拡大 地域資源活用事業 3,015千円

町観光物産協会と連携して、これまでの誘客イベントの実施や新たな観光資源の開発を図るほか、永平寺門前における本町の特産品や商品の販売に取り組み、訪れる観光客と本町自慢の物産との出会いを図り商工業及び観光の振興を推進します。

観光情報発信事業	1,173千円
旧永平寺線跡地利用事業	1,376千円
大学生・父母との情報発信・交流事業	619千円
永平寺ふるさと大使事業	554千円
輝く永平寺町魅力体験事業	425千円



旧永平寺線跡地 健康ウォーキング

4) 大学を活かしたまちづくりをめざして

地域学習プラン支援事業	100千円
-------------	-------

6. 思いやり、ともに生きる地域をめざして

1) 地域交流活動の推進、イベントの充実

新イベント実行委員会助成	7,000千円
若者出会い交流事業	700千円

2) まちづくりにおける町民参加の推進

わが町夢プラン事業 ……………2,000千円

希望のまち永平寺創造委員会 ……………428千円

3) 男女共同参画社会の推進

新 男女共同参画宣言都市記念事業（22年度） …1,218千円

優しさと思いやりのある豊かなまちづくりを進めるとともに、男女共同参画宣言都市記念事業を実施することにより、更なる施策の推進を図り、男女共同参画の社会づくりを整備します。

人権擁護事業 ……………804千円

輝く女性永平寺会議事業 ……………90千円



輝く女性永平寺会議

4) 国際性豊かな人づくり

中学生海外派遣事業 ……………4,000千円

7. 計画の推進に向けて

1) 町民と行政の協働によるまちづくり

広報作成事業 ……………4,006千円

「気軽に散策・えいへいじ巡り」事業 ……………242千円



気軽に散策・えいへいじ巡り
(町政バス)

2) 行政運営の充実

参議院議員通常選挙・町議会議員選挙 ……………29,458千円

国勢調査 ……………7,992千円

職員研修事業 ……………1,301千円

3) 財政の健全化

新 河川公園指定管理者委託事業 ……………8,665千円

多様化する住民ニーズに、より効果的、効率的に対応するため、河川公園の管理を指定管理者に委託し、住民サービスの向上と経費の節減など財政の健全化を図ります。

新 滞納整理強化事業 ……………2,566千円

町税の収入確保策の一環として滞納整理を強力に推し進める。特に本年度は県と市町が共同して滞納地方税を共同徴収する事業を推進します。

拡大 納期前納報奨金の廃止

行財政改革の一環として、平成20年度から平成21年度の2ヵ年で住民税や固定資産税の前納報奨金の廃止を行うなど、税・財政健全化を図りました。

納税組合納税奨励金 ……………11,830千円

臨時徴税員賃金 ……………1,500千円

平成21年度3月補正に盛り込んだ主な取り組み

平成21年度3月補正予算 一般会計 513,820千円

国の第2次補正予算が成立し、経済・雇用情勢へ対応するため「環境」「景気」「生活の安心確保」「地方支援」等の様々な経済対策が打ち出されております。本町といたしましても、生徒の安全確保から予算の前倒しを図り「地域活性化・きめ細かな臨時交付金」を活用した中学校2校の耐震補強工事や松岡小学校屋内運動場周辺整備事業、子ども手当支給に係るシステム改修事業、県補助事業を活用した「永平寺門前のにぎわい創出事業」などの予算を計上しました。

前倒し政策

① 地域活性化・きめ細かな臨時交付金

- 1) 松岡中学校管理特別教棟耐震補強工事 ……………173,390千円
- 2) 永平寺中学校校舎耐震補強工事 ……………118,960千円
- 3) 松岡小学校屋内運動場周辺整備工事 ……………26,200千円
体育館前や校舎内の駐車場等の整備を行います。

② 県補助事業

- 1) 永平寺門前のにぎわい創出事業 ……………75,000千円
永平寺門前地区の、道路環境の改善、街並み景観の向上等を図るための整備を行います。

③ 単独事業

- 1) 資料館活用促進事業……………6,150千円
四季の森文化会館資料館のリニューアル改修整備を行います。

国の政策

- ① 子ども手当準備事業 ……………4,280千円
平成22年度から実施される子ども手当支給に係るシステム改修を行います。